

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	班目地区外用水路整備事業	南足柄市	4,400,000	4,400,000	総事業費 4,406,600 （事業実施主体 （市町村） の総事業費）

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	班目地区外用水路整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		南足柄市
交付金事業実施場所	南足柄市班目ほか3件	
交付金事業の概要	<p>農業用水路の補修</p> <p>内山地区 : 施工延長10m、幅員0.35m</p> <p>弘西寺地区（その1） : 施工延長5m、幅員1.20m</p> <p>弘西寺地区（その2） : 施工延長5m、幅員1.20m</p> <p>班目地区（その1） : 施工延長10m、幅員0.75m</p> <p>班目地区（その2） : 施工延長10m、幅員0.75m</p> <p>班目地区（その3） : 施工延長10m、幅員0.75m</p> <p>荻野地区（その1） : 施工延長8m、幅員0.35m</p> <p>荻野地区（その2） : 施工延長8m、幅員0.35m</p> <p>荻野地区（その3） : 施工延長25m、幅員0.35m</p> <p>当該地区の農業用水路は、数十年前に原材料支給により地域住民が整備したものが多く、経年劣化により石積みが崩れる等危険な状態になっており、水害対策や農業用水の安定した確保という観点から、自治会が整備を要望する農業用水路の修繕を行うものです。</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>【主要政策・施策】</p> <p>南足柄市第五次総合計画後期基本計画 施策22 農林業の振興 農林業従事者は、安定した農林業経営を目指して取り組んでいます。</p> <p>【目標】</p> <p>想定される災害に対して、被害を最小限に抑えるための備えができています。</p>	

事業開始年度	令和3年度		事業終了(予定)年度	令和3年度			
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度	
	自治会要望に対する整備済の水路の割合(79.1%)	(整備済み距離+令和2年度整備予定距離) / 要望全長 × 100	成果実績	%	79.1		
			目標値	%	79.1		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	自治会要望に対する水路の整備については毎年度継続している事業ですが、契約を単年度で行っており、当該年度の進捗を確認するため、事業実施年度毎の評価としました。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、市内4地区の農業用水路の整備を行い、地域における農業生産性の向上を図ることができました。また、用水路の劣化による危険な状況を改善でき、防災の面においても大きな効果が図られました。令和4年度につきましても、用水路整備を継続し、本交付金の有効な活用を目指していきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	令和3年度用水路整備事業の進捗量(施工延長(L))	活動実績		m	100.9	82.0	91.0
		活動見込		m	100.9	82.0	91.0
		達成度		%	100	100	100

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
総事業費	4,450,600	4,446,200	4,406,600	
交付金充当額	4,400,000	4,400,000	4,400,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000	4,400,000	

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
内山地区水路修繕工事（その1）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
弘西寺地区水路修繕工事（その1）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
弘西寺地区水路修繕工事（その2）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
班目地区水路修繕工事（その1）	随意契約	株式会社川上建設	495,000円
班目地区水路修繕工事（その2）	随意契約	株式会社川上建設	470,800円
班目地区水路修繕工事（その3）	随意契約	株式会社川上建設	470,800円
荻野地区水路修繕工事（その1）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
荻野地区水路修繕工事（その2）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
荻野地区水路修繕工事（その3）	随意契約	有限会社森土建	495,000円
交付金事業の担当課室	政策局政策部土地水資源対策課		
交付金事業の評価課室	政策局政策部土地水資源対策課		

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
(4) 交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
(5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
(6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄

に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。

- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。

なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。

- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。

なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。

- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。

- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。

- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。

- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。